

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 | | | | | |
|----------|------|--|--|---|------------|
| 優先順位 | 項目番号 | 現状における問題点、課題 | 目標 | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容 | 目標達成に要する期間 |
| 1 | 33 | 終末期に向けたホームの方針や体制について、これまで事例がなかったために、全職員で終末期ケアについての話し合いが行われていない。また、重度化に伴う意思確認書の準備も不十分である。 | <ul style="list-style-type: none"> 利用者ホームで安心して過ごして頂くに辺り、終末期ケアの必要性を職員全体が認識する。 認識した上で、終末期のケアについて、自然に取り組めるような体制を構築する。 | <ul style="list-style-type: none"> 終末期ケアの勉強会開催。 ホームの受入体制の検討。 各家族との信頼関係の構築及び密な話し合い。 | 12ヶ月 |
| 2 | 35 | 災害時マニュアルの作成、火災訓練は行っているが、一人夜勤体制であることから、近隣住民の協力体制の構築、また天災発生時の対応や避難経路について全職員が把握することが必要。 | <ul style="list-style-type: none"> 火災を起こさない。 天災については、全職員が対応方法を身に付ける。 | <ul style="list-style-type: none"> 火の元の注意の徹底。 コンセントの定期的な点検及び掃除。 火災に限らない、様々な災害を想定した避難訓練の実施。 | 6ヶ月 |
| 3 | 2 | 納涼祭を開催したり、隣組合に加入して地域活動に参加しているが、さらに地域に開かれたホームを目指していくことが必要。 | <ul style="list-style-type: none"> 地域の方々と交流をもった施設。 気軽に来所してもらえるような雰囲気作り。 | <ul style="list-style-type: none"> 隣組合活動への参加。 ホーム情報誌の作成及び回覧。 近隣他施設との交流。 | 12ヶ月 |
| 4 | 4 | 運営推進会議の内容のマンネリ化や家族の参加者が少ない。 | <ul style="list-style-type: none"> 会議の内容の充実 | <ul style="list-style-type: none"> イベントや講習会等を組み合わせて家族が参加しやすい環境を提供する。 | 6ヶ月 |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。